

《企業紹介》

ホーチミン市を拠点とする著名なベトナム人実業家グエン・チャン氏が仲間と共に、銀行参入自由化直後の 1992 年に設立した、アジア商業銀行などと並ぶ民間資本としては最も古い商業銀行のひとつである。保守的な融資姿勢が特徴であり、家族経営でありながら、マクロ経済が混乱に陥っても経営危機に瀕するようなことは一度もなかった。2023 年にホーチミン市場に株式を公開した。

技術革新や業務改革に積極的に取り組む姿勢は創業者達の起業家精神を受け継いでおり、2019 年にベトナム初の人工知能搭載ロボット行員導入を行ったほか、デジタルネイティブ世代をターゲットにしたバーチャルバンキングを積極的に進め、経済成長によって拡大しているベトナムの中産階級や中堅企業をターゲットにした業績拡大戦略を採っている。

《2026 年 4 - 6 月期業績》

2026 年 4-6 月期の営業収入（以下、収入は全て費用を差し引いた純額）は前年同期比 4.6%増の 2.8 兆 VND（ベトナムドン）だった。貸出債権残高は同 13.8%増の 216.5 兆 VND となったが、資金調達コストの増加が金利収入の増加を大幅に上回り、預貸利ザヤの悪化が続いたため、金利収入は同 5.0%増の 2.2 兆 VND にとどまった。手数料収入が費用の減少によって同 97.5%増の 3,001 億 VND となったものの、その他収入が外国為替売買損益の赤字転落等によって 29.5%減の 3,089 億 VND となって足を引っ張った。引き続きベトナム経済の拡大加速によって資金需要は旺盛で、貸出債権残高の拡大が続いているが、預金残高は同 1.6%増の 200.0 兆 VND にとどまり、コストの高い他の金融機関からの借入残高が同 142.6%増の 147.6 兆 VND に急増している。貸出金利の引き上げも進めているが、資金調達コストの上昇がそれを上回る状況が続いている。

人件費の増加によって営業費用が同 47.3%増の 1.1 兆 VND となったが、貸倒関連費用が同 77.4%減の 1,390 億 VND となったため、税前利益は同 17.0%増の 1.5 兆 VND となった。純利益は同 16.9%増の 1.2 兆 VND だった。税前利益の増益基調は維持されているが、貸倒関連費用の減少が税前利益の増加のほとんどを説明している。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	2,712.1	17.1	2,593.5	15.3	3,946.5	54.6	2,290.4	0.6	2,836.4	4.6
(うち金利収入)	2,122.1	-3.9	2,054.8	2.7	2,327.6	15.7	2,053.7	-2.8	2,227.4	5.0
(うち手数料等収入)	151.9	62.3	173.7	44.9	135.4	-22.5	149.7	21.7	300.1	97.5
(その他収入)	438.1	3,088.3	365.0	183.8	1,483.5	305.7	87.1	112.1	308.9	-29.5
営業費用	802.1	-6.4	948.2	2.2	1,251.7	-6.5	884.0	8.4	1,181.7	47.3
貸倒関連費用	614.4	153.6	356.3	66.0	1,252.6	-	-233.6	-	139.0	-77.4
税前利益	1,295.6	6.5	1,291.2	16.7	1,442.1	18.0	1,639.8	33.9	1,515.8	17.0
純利益	1,034.7	6.5	1,031.4	18.5	1,140.1	17.9	1,308.5	34.0	1,209.8	16.9
貸出債権残高	190,329.5	23.1	195,579.9	21.0	195,333.0	17.9	199,073.5	13.4	216,588.7	13.8
貸倒比率(年換算、%)	1.3	-	0.7	-	2.6	-	-0.5	-	0.3	-

注 収入は全て対応費用を差し引いた純額 注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会

有効期限作成日より 180 日

News20260805

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

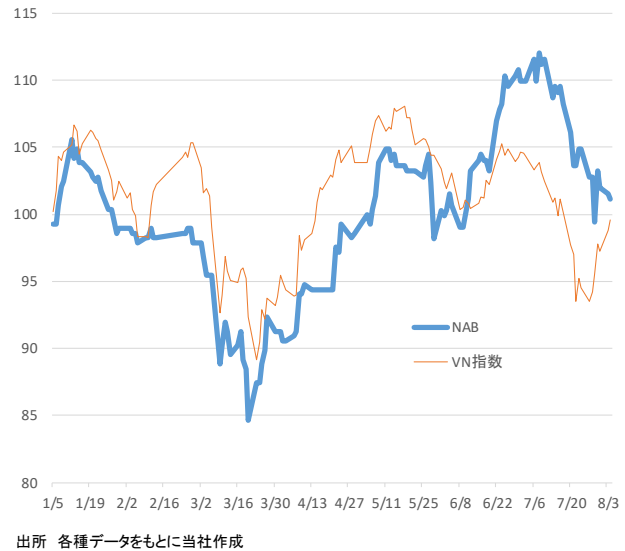
ナムアバンク(NAB)



《株価の動向》

同社の株価と VN 指数を、2025 年末終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は 2026 年の年初から VN 指数に対しアンダーパフォームしていたが、6 月に入ってからアウトパフォームに転じている。これは、6 月に入り、ベトナム中央銀行が金融市場の逼迫を解消するための政策対応を明らかにしたことにより、同社の今後の資金調達コストが低減するという期待が株価パフォーマンスにプラスに影響したとみられる。2025 年末に対する 8 月 4 日終値時点の変動率は VN 指数の 0.4% の下落に対して同社は 1.1% の上昇となっている。8 月 31 日終値 12,100VND ベースの時価総額は 26.1 兆 VND であり、それは 2025 年 12 月期実績の純利益 4.1 兆 VND に対して 6.4 倍の水準となっている。

図表2 株価推移



同社の 2026 年 6 月末の負債総額は前年同期比 45.0% 増の 425.6 兆 VND と急増しているが、負債増加のほとんどが他の金融機関からの借入となっており、期待されていたベトナム中央銀行の政策のポジティブな影響は 2026 年 4-6 月期決算では確認できていない。預貸利ザヤの悪化に歯止めがかかり、貸出増加が利益水準向上につながるまでにはまだ時間が必要ということなのだろう。引き続き今後の決算で預貸利ザヤの変動を注意深く見守る必要があるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。